



# 西川中学校通信

発行日 令和6年3月19日(火) 第12号  
ホームページ <http://www.nishichu.city-niigata.ed.jp>  
〒959-0422 新潟市西蒲区曾根1828番地3 Tel 0256-88-3148

1年生	89名
2年生	66名
3年生	95名
全校	250名

## 「温故知新」

校長 大平 淳一

95名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの門出を心からお祝いします。

当校は、教育目標「健康で知性が高く自主的で実践力のある生徒」を目指して教育活動を進めてきました。実践力をつけるための「にこやか、しなやか、かかわりあう、わかりあう」は、当校の教育活動で大事にすることについての合い言葉でした。

3年生のみなさんは、いずれの場面でも常に前向きに取り組み、下級生に良き模範を示してくれました。「しなやか」に多くの課題を乗り越え、仲間と「かかわりあう」ことでよりよい学びを創り上げる。そして互いの成長を「わかりあ」い、誰もが「にこやか」な学校生活を送ることができました。このような新たな伝統を創ってくれた3年生の皆さんに心から感謝します。ありがとうございました。



さて、現在世の中では、AI、人工知能の発展が言われています。コンピューターの性能が大きく向上したことにより、機械であるコンピューターが「学ぶ」ことができるようになったのです。それによって、人間の知的活動に、AIが大きな役割を果たす時代になりつつあります。AIが人間の知的活動を左右する、そんな時代なのかもしれません。このような時代を皆さんは生きていくことになるのです。

こういった時代だからこそ私は敢えて、一つの言葉を、卒業する皆さんに対して贈りたいと思います。「温故知新」です。「故きを温ねて新しきを知る（ふるきをたずねてあたらしきをしる）」と読みます。過去の事実を研究し、そこから新しい知識や見解をひらくといった意味です。生徒の皆さんには、すでに、「温」の字には、たずねる、ならうという意味があるとお話をしていました。物事を新たに創造していくときにAIだけに頼らず、自分自身の力で過去から学ぶということです。

東京スカイツリーは、1300年以上も前に建てられた法隆寺の五重塔に着想を得て建築されたのだそうです。五重塔の中心には、心柱と呼ばれる大黒柱のようなものが立っています。この心柱は、外周部の塔本体と直接つながっていない。この仕組みが、地震の揺れを軽減させ、建物を倒れにくくしている現代の建築技術に活かされているのだそうです。

20歳で将棋の名人となった藤井聡太さんは、名人となった際、この「温故知新」の文字を色紙などに書かれています。この言葉を選んだ理由について、「AIによって再評価されてもいる昔の将棋を学び、採り入れられたらと思ったからです。」と話されています。

AIは、全くのゼロからでは新しく何かを生み出すという作業はできません。また、人や動物などの感情を汲み取ることも、AIが苦手なことの一つです。そして、AIは、あくまでも人間の設定した目的を達成するための最適な手段を示すだけで、目的そのものを自ら設定して示すことはできないと言われています。

皆さんには、安易に機械に頼らず、物事を深く調べ、合理性や効率よりもじっくりと考える人になってほしいと思います。人間の気持ちや思いに大切に、何事にも自分の心を込めるといった営みを忘れないでください。そして、世の中の平和や人々の幸せを目的として、行動して行ってほしいと考えます。人々の幸せを願ったり祈ったりすることは、人間独自のすばらしい力であるのです。

西川中学校で、輝いていた毎日の中で仲間と培った大切な「絆」を、いつまでも切れない、かけがえのない宝物にしながら、人々の幸せが実現した世の中になることを皆さんの手で押し進めていってください。期待しています。

(卒業証書授与式 式辞より一部抜粋)

# 第48回 卒業証書授与式

3月5日(火)、第48回卒業証書授与式が行われ、卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業生代表が、「それぞれの道を歩み始める中で、心細くなることもあるかもしれませんが、しかし、そんな時こそ、この3年間で得た仲間や経験、たくさんの宝物を思い出して、一步一步進んでいきます」と答辞を述べました。

卒業式後には、卒業生全員で、卒業記念合唱「絆」を歌い上げました。全員が心をつなげて合唱し、息の合った美しい歌声が講堂に響きました。



## 生徒会 リーダー研修会

～西川中をより良い学校にするためにできることを考えました～

3月12日(火)と18日(月)の2回、令和6年度 生徒会本部役員、専門委員長、学年委員長、部活動の部長が参加して、リーダー研修会が行われました。初めに校長先生より講話をしていただき、生徒会活動の目的、よりよい学校にするための心構え、リーダーシップとは何か、フォロワーシップの大切さなどについて学びました。次に少人数グループになって、「今の西川中の良いところと課題」「これからどのような西川中にしたいか」というテーマでファシリテーションを行いました。第2回には、昨年の生徒総会の議案書をもとに、「これからも継続していきたい活動」「改善が必要なもの」「新たに必要なもの」を考えました。

みんな真剣に考え、西川中学校をより良くしていくために、リーダーとして全校の先頭に立ち、これからどんな活動をしていくか、進んで意見を出し合っていました。

